

おおむた 市議会だより

第234号

令和7年度 9月議会
令和7年(2025年)11月1日発行

インターネット議会中継配信中
過去の録画※も視聴できます

大牟田市議会

検索

※過去5年度分

右のQRコードで
スマートフォン・
タブレットでも
見れます



大牟田市が舞台のオール大牟田ロケの映画
「オオムタアツシの青春」絶賛公開中



- 【主な記事】 ○決算特別委員会を設置し、令和6年度会計の決算を審査／ぎかいの話題(2ページ)
○代表質問・一般質問(4～9ページ)

決算特別委員会を設置し、令和6年度会計の決算を審査しました

令和7年9月議会において、9月16日から22日までの間、議員全員で構成する決算特別委員会（平山伸二委員長、森遵副委員長）を設置し、令和6年度の各会計決算関係議案7件について審査を行いました。

委員会では、財政運営や公共工事に関すること、病児・病後児保育に関すること、廃棄物対策に関する事など、幅広い視点から議論が交わされました。

その後、決算特別委員会における51項目の意見・要望を盛り込んだ委員長報告書を取りまとめ、9月議会最終日には全ての各会計決算を認定しました。

決算特別委員会における意見・要望（抜粋）

●公共工事に関する事

市の公共工事については、小規模工事を含めた公共施設等の工事などにおける市内事業者への発注を継続し、受注機会が確保されるよう努めてほしい。

●認知症対策に関する事

認知症施策推進支援事業費補助については、事業費が全額国庫補助であること、また本市の高齢化の状況からも認知症対策は重要な取組であることから、事業の拡充に取り組んでほしい。

●出前講座に関する事

出前講座については、時代の変化とともに必要となる知識やニーズも変わることから、それらを的確に把握し、各講座の内容等の見直しや充実を図ってほしい。

●民生委員に関する事

民生委員については、市民と行政のつなぎ役として活動が多岐にわたっていることから、業務の見直し等による負担軽減を図るとともに、活動費への財政支援の増額を国に求めるなど、担い手不足の解消に努めてほしい。

●出産祝品の贈呈に関する事

出産祝品贈呈事業については、出生した子だけでなく、その親子を祝福する事業となるよう見直しを検討してほしい。

●学校の管理に関する事

小・中学校における学校管理については、現行の配当予算額では十分に施設管理、修繕ができていたとは言い難い状況にあることから、物価高騰も踏まえた予算を要求し、子供たちの学習・教育環境の向上を図ってほしい。

●廃棄物対策に関する事

廃棄物対策の取組については、大牟田市ごみ処理基本計画の中間見直し時に実施した市民・事業所へのアンケート結果を踏まえた見直しを行うとともに、ごみの減量化・資源化に努めてほしい。

●病児・病後児保育に関する事

病児・病後児保育事業については、県の利用料無償化事業によって利用者数が増加していることから、利用ニーズの分析や受け皿となる施設の把握とともに、必要な予算の確保に努めてほしい。

（1万円未満四捨五入）

一般会計及び特別会計		歳入	歳出
一般会計		610億5,641万円	606億6,117万円
特別会計	国民健康保険	139億8,776万円	133億2,848万円
	介護保険	134億3,807万円	133億2,179万円
	後期高齢者医療	23億6,604万円	23億994万円
	病院事業債管理	4億3,665万円	4億3,665万円
事業会計		収入	支出
水道		25億3,750万円	23億4,142万円
公共下水道		39億6,468万円	34億1,595万円

本会議運営のあらまし

■令和6年度決算の認定、 令和7年度一般会計補正 予算など可決

9月議会

令和7年度9月議会は、9月2日に招集され、9月26日までの25日間の会期で運営されました。

9月議会で審議した議案等は、令和6年度の各会計決算7件、予算議案5件、条例議案等4件、その他の議案8件、報告9件及び意見書案等の発議6件の計39件でした。

発議の内容は、市議会委員会条例と、市議会会議規則の一部改正などとなっています。

また、一般会計補正予算の主な内容は、多子世帯への子

育て支援の強化や、省力化・効率化などを目的とするICTやロボット技術を搭載したスマート農業機械等の導入に要する経費への補助などに要する経費となっています。

本会議では、市長の政治姿勢やおおむた「大蛇山」まつりなどについて10人の議員が登壇し、市長をはじめ当局に質問しました。

また、令和6年度各会計決算議案は決算特別委員会に付託し審査を行いました。

本会議終了日までに、意見書案の発議4件を除いた議案・発議を、それぞれ認定、可決して本会議を閉会しました。

議会日誌（7月～9月）

- 【7月】 11日 広報広聴委員会広聴部会
15日 広報広聴委員会広報部会
- 【8月】 1日 各派代表者会、議会運営委員会
26日 各派代表者会、議会運営委員会
- 【9月】 2日 第3回定例会本会議〔開会〕、
広報広聴委員会広報部会
8日 本会議〔質疑質問〕
9日 本会議〔質疑質問〕
10日 本会議〔質疑質問〕、請願等調整委員会
11日 総務委員会、市民教育厚生委員会、
都市経済委員会
16日 各派代表者会、議会運営委員会、
本会議〔決算議案を除く議案等採決〕、
決算特別委員会、広報広聴委員会広報部会
17日 決算特別委員会
18日 決算特別委員会、広報広聴委員会広聴部会
19日 決算特別委員会
22日 決算特別委員会、起草委員会
26日 起草委員会、各派代表者会、議会運営委員会、
本会議〔決算議案等採決、閉会〕、
広報広聴委員会広聴部会

委員会メモ

マイナ救急実証事業について

【総務委員会】

8月29日の委員会で、マイナ保険証を活用した救急業務の円滑化に係る令和7年度実証事業の実施について説明を受けました。

マイナ救急実証事業については、10月1日より全国一斉で行われる事業であり、救急隊員が傷病者のマイナ保険証を活用し、医療情報等を閲覧することで、傷病者が救急隊員に説明する負担の軽減や、より適切な処置につながるなどが期待されています。

延命公園へのコンビニエンス ストアの誘致について

【市民教育厚生委員会】

8月29日の委員会で、株式会社ファミリーマートが公募設置等予定者として決定した旨の報告を受けました。

同予定者は、特定公園施設として、24時間利用可能なトイレ4基（バリアフリー1基、男女兼用1基、女性専用1基、男性専用1基）を設置する計画に基づき、基本協定締結後に着工し、令和8年4月1日に営業を開始する予定です。

道路愛称の募集について

【都市経済委員会】

8月29日の委員会で、延命公園地区への愛着化を目的として、おおむたアリーナのオープンを機に付近道路への愛称を設定し、その愛称を募集する旨の説明を受けました。

同アリーナに接する道路の改良工事が令和8年3月に完了することから、令和7年10月から募集を開始し、11月に決定後、令和8年3月頃に三叉路付近のガードレールに、愛称プレートを設置する予定です。

大牟田市議会におけるペーパーレスの取組について

令和7年9月議会では、試行的に、全議員がタブレット端末を活用して資料を閲覧し、議会審議、委員会審査等を行いました。12月議会からは資料の一部を除き、可能な限りペーパーレス化に取り組んでまいります。

国・県・市の連携を活用し、今しかできないまちづくりを



自由民主党市議団
森 遵 議員



後半2年間の まちづくりの重点施策と 重点事業について

問 市長の任期の後半2年、特に力を入れる重点施策、重点事業は何か。

答 公約に掲げたまちづくりの中でも、本市独自の子育て支援、小中一貫教育の推進、誰一人取り残さない学びの保障に向けた取組を進めていく。

また、新大牟田駅産業団地への企業誘致に加え、民間のノウハウを活用したIT関連企業の誘致や、若い世代に本市の魅力的な企業や産業を知ってもらうための取組を進め、さらに、昨年立ち上げたアーバンデザインセンターおおむたとの連携により、まちなかの再生・活性化を進めていく。

加えて、排水対策基本計画に基づき、災害に強いまちづくりを加速させていく。

再発言 国の第2世代交付金の枠が1自治体当たり年10億円あるが、もっと活用して、まちづくりを加速化されたい。

市民の安心安全のために、 万全の備えを

問 今年の夏まつりは、残念ながらガス漏洩事故により中

止となった。重傷者がおられなかったことは不幸中の幸いだが、事故に対する市長の受け止めを伺う。

答 二度とこのような事故が起こらないよう、安全対策の徹底を改めて求めるとともに、合同訓練等を通じて、万一に備えた万全の体制を構築していきたい。

問 企業の再発防止策をどのように評価しているのか。

答 会社から提出された事故調査報告書には、事故原因の推定と、それを踏まえた再発防止策の取組、また、万一漏洩事故が発生した場合における拡散抑制の対策、さらに通報体制や初期広報活動の改善が盛り込まれている。

本市としては、これらの対策が確実かつ速やかに実行されることを求めている。

今後、今回の事案を想定した防災訓練の実施等により、二度とこのような事故が起こらない万全の体制を構築する一方、工場に対して安全な工場運営を強く要請していく。

問 金銭面での被害ということも漏れ聞こえるが、市としてどう対応するのか。

答 大集合パレードに参加された各山車や祇園六山、移動商組合など関係者の様々な御意見に関しては、まつり振興会の事務局である市と商工会議所が取りまとめた上で、会社伝えていく。

再発言 次があってはならないが、次への備えに万全を尽くす必要がある。これまでど

おり、大牟田の重要な中核企業として事業活動が続けられるためにも、市も協力して、市民の皆さんの安心・安全、信頼をしっかりと確保するように努められたい。

大牟田の宝である 「大蛇山」まつりを 後世に受け継げ



問 おおむた「大蛇山」まつりは、市民が大牟田市で最も誇りに思うものである。

伝統行事であるだけでなく、地域に多数の山車が造られ、若者や子供たちを育む貴重な場となっている。

今後とも持続可能なまつりとするための課題は。

答 警備費高騰等で、支出が増える一方、大蛇山Tシャツの売上げが大きく落ち込んでいる。今後は、収入と支出両面において改善を図り、まつりの持続可能性を高めていく必要があると考える。

再発言 後世にしっかりと受け継いでいくため、もっと外から人を呼び込み、宿泊を促す仕掛け、よりまちが潤うように持っていきたい。

まつりの持つ大牟田での意義を考えて、また、来場者の安全確保のためにも、今年までと言われた上乗せ支援を、来年も引き続き実施されたい。

みんなで思いやりのある社会の実現に向けて



公明党議員団
山田 修司 議員



大蛇山まつりの警備体制

問 本市の一番のイベント大蛇山まつりで、トラブルがあった場合の警備体制は。

答 大蛇山まつりにおける警備については、安心・安全なまつり開催に向け、例年5月から7月にかけて大牟田警察署、消防本部、まつり振興会事務局の商工会議所及び市の4者が集まり、交通規制の区域や警備員の配置箇所及び人数、車両進入防止のためのバリケード設置箇所などについて協議を重ね、警備体制を決定している。

しかし、突発的な事案を想定したものとはなっていないことから、今回のまつり中止の対応を検証し、警備の在り方等の協議を進めていく必要があると考える。

市営住宅の学生入居

問 本市の市営住宅への学生入居を東谷住宅、船津住宅以外でも全市的に取り組めないか。

答 学生入居については、国の目的外使用の許可条件とし

て、本来の入居対象者の入居が阻害されないこととなっている。

ほかの住宅への学生入居の拡大の取組に当たっては、学生や市内の高等教育機関に対してニーズ確認を行い、許可権者である国へ相談しながら判断したいと考える。

子どもアドボカシー

問 弱い立場の子供が自由に意見表明する権利を守る取組、※子どもアドボカシーに積極的に取り組むことが必要かと思うが、本市の現状と今後の取組は。

答 本市の取組として、大牟田市こども計画において、子供の意見を聞き、対話をしながら子供に関する施策を進めていくこととしており、市長との意見交換会や「こどもいっつも意見箱」の取組も開始した。また、課題を抱えた子供や家庭への支援を行う中では、子供の権利を守り、子供に寄り添い、子供の立場で考え、丁寧に対応するよう心がけている。

今後においては、子どもアドボカシーの理念や役割について、子供や子供に関わる全ての人々の理解を深めていく必要があると考えており、関係機関を対象とした様々な研修を通じて、子供の権利保障に対する理解を深めていきたい。

問 子供に関わる全ての大人の意識啓発や理解の促進が不

可欠であり、子供の権利や子どもアドボカシーに関する研修、普及啓発を進めてはどうかと思うが、市長の見解は。

答 全ての子供が健やかに成長し、自立できるためには、子供が持つ権利を尊重し、子供の最善の利益を第一に考えることが重要だと思う。このため、学校、地域住民、事業者など、子供に関わる方と共に子ども・子育ての応援に取り組む必要がある。特に子供の権利や子どもアドボカシーに関する意識啓発は重要な取組と考えている。

こうした中、本市においては、大牟田市子ども支援ネットワークの取組の一環として、福祉、学校関係者や地域など、異なる分野の支援者を対象に、子供の支援に関する研修を毎年実施している。

今後においても、地域社会全体で子供たちを支える意識を醸成するため、様々な機関と連携し、研修会や講演会等を通じて、子供の権利や子どもアドボカシーの重要性、このことを広めていくための取組を進めていきたい。



※子どもアドボカシー…子どもが話したいことを自ら話せるように支援したり、必要な場合には、子ども依頼または承諾を得て子どもの思いや意見を代わって表明すること。(子どもアドボカシー学会HPより)

SDGs 未来都市おおむた 夢を描くまちづくり



民主・護憲クラブ
櫻井 ちはる 議員



市長の政治姿勢① 市の安全対策について

問 ガス漏洩事故の被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

市長は今回の事故をどのように総括されているか。

答 まつりの一部が中止になったことは大変残念に思っている。事業所には再発防止、安全対策の徹底を要請するとともに、被害に遭われた方への丁寧な対応を強く要請した。

市長の政治姿勢② 庁舎整備 総事業費の削減と市民意見の反映を

問 ※CM方式はコスト削減、工期管理に資するとあるが、リスク軽減の具体策は。

答 建設費上昇に伴い、全国の自治体で庁舎整備の入札等が成立せず、工期遅延の事例が散見されている。そうしたリスク削減のため、CM事業者の分析に基づき、市が主体的に判断を行う。

問 市長も総事業費の削減が重要な課題とされているが、市長は削減後の事業費の上限をどう考えているか。

答 基本構想で151～159億円と示しているが、事業費削減

は大事な視点と考える。これからの基本計画等の策定の中で実施し、皆様に示したい。

再発言 市民の皆さんが納得される大幅な事業費の削減を。

問 市民の合意形成について、今後、計画が策定されていく中で市民の声を届ける方法と、市民の声がいつまでなら生かされるのか聞きたい。

答 関係団体の皆様に適切な施設運営ができるような意見を頂戴する機会をつくっていく。また、適宜適切な機会、事業の進捗に合わせ議会の皆様に報告し、意見を頂戴しながら進めていく。

再発言 その適宜適切な時期が不明。将来世代に及ぶ財政負担は重大な決断である。透明性を高め、節目ごとに市民の皆様の理解と納得を得ながら進めていき、意見を反映できる仕組みを強く要望する。

庁舎は市民のものであるので、ぜひ市民の参加を。

保護者ニーズの高い 本市独自の夏休み小学生 預かり事業

問 2年間で利用者数が2倍近くに増えたこの事業について、市長はどのように将来像を描いているのか。

答 利用者のニーズ、満足度も高く、子育て世代に魅力的なまちづくりに必要な事業の一つだと考えており、できる限り継続して取り組みたい。

再発言 人手不足が課題であり、昨年、私から提案した保育を学ぶ学生アルバイトが3園で22名雇用されたことは、

事業者と学生の双方にとって良い取組である。大牟田発のこのニーズが高い事業を福岡県の事業としても検討いただくよう県に対するPRと、予算の拡充を要望する。

公共施設の授乳環境の整備 (授乳室の必要性)

問 授乳室がカルタックスに新設されたが、他の公共施設への整備の必要性を中村副市長はどのようにお考えか。

答 子育てしやすい環境づくりの取組として授乳室や代替室の周知に努めるとともに、各施設における部屋の有効活用を含め検討したい。

再発言 母子利用のニーズ調査を行い、文化会館や子育て広場のある手鎌、三池地区公民館への環境づくりを。



カルタックスおおむたの授乳室

高齢者や交通弱者も 安心して移動できる 公共交通の確保

問 70歳以上が対象の高齢者運転免許証自主返納については年々増えている状況だが、移動手段をどう確保するのか。

答 地域のニーズに応じた移動手段を支援していく。今後、人口減少や高齢化が進展したとしても日常生活が維持することができるような公共交通体系サービスの構築を目指す。

※CM（コンストラクションマネジメント）方式…大型の建設事業において、豊富な実績を持つ事業者が中立的な立場からコスト・品質・スケジュールについて助言や情報整理をする方式。



自由民主党市議団
江上 しほり 議員



男子バレーボール等中学校部活動の競技機会確保と地域クラブ支援について

問 本市の中学校には男子バレーボール部がなく、クラブにも大会参加資格を持つ指導者がいないことから、公式戦に出場できない。クラブの創設や資格取得費用への支援制

度を導入する考えは。

答 今後、他市の事例や本市の部活動の地域展開の進捗を踏まえ、対応を検討したい。

再発言 中学生たちの「試合に出たい」という思いを叶えるため、改革を進めてほしい。

中学生のキャリア教育と自衛隊の職場体験学習・防災学習について

問 自衛隊の職場体験学習や防災学習などを中学生のキャリア教育の一つとして取り入れる考えは。

答 生徒の興味や関心に応じ

て適切に対応していく。

再発言 多様な進路の選択肢として自衛隊も含めたキャリア教育の取組を進めてほしい。

蛍光灯製造終了とエアコン価格高騰の「2027年問題」への対応について

問 2027年問題への対応について市長の考えは。

答 全国的な課題でもあり、まずは国・県の動向を注視しながら検討したい。

再発言 特に低所得世帯への負担軽減を重視した補助制度を検討されたい。



公明党議員団
大野 哲也 議員



不登校・ひきこもり支援

問 不登校児童生徒の現状は。

答 本市の不登校児童生徒数は、昨年度は近年では初めて減少傾向となった。

問 減少した要因は何か。

答 校内教育支援センターハ

ートフルルームを全校に設置したことや、児童生徒が安心して過ごせる居場所として、地区公民館にサテライトスペースを置くなど、令和6年度より実施しているハートフルスクールプロジェクト推進事業の成果と考えている。

問 市長のひきこもり支援に対する見解は。

答 本市としては、国の動向等も十分注視しながら、県のひきこもり地域支援センターや社会福祉協議会等と連携し、本人やその家族の尊厳を守り、

寄り添いながら丁寧な相談支援を行い、長期になることがあっても、しっかりと伴走支援に取り組んでいきたい。

気温上昇の影響を把握し、対策を急げ

問 気温上昇による農林水産業への影響は。

答 品質の低下、生産量の減少、病虫害被害の拡大など。

再発言 気候変動は、既に自然と人々に広範な悪影響をもたらしている。本気で対策を考えねば人類の未来はない。



民主・護憲クラブ
森田 義孝 議員



大牟田市協働のまちづくり推進条例の総括

問 大牟田市協働のまちづくり推進条例の制定から10年目に当たり、協働のまちづくりの現状を踏まえ、評価・検証することが必要と考える。そこで、協働のまちづくりの推

進における基本理念である本推進条例の総括を行うのか、伺いたい。

答 大牟田市協働のまちづくり推進委員会の中で、この10年を振り返り、これまでの歩みと今後の方向性などについて御協議いただきたいと考えている。

大牟田市第3次空き地及び空き家等対策計画の特徴

問 本市における空き地及び空き家等の実態を踏まえ、より一層計画的、総合的に空き

地及び空き家等対策に取り組むため、大牟田市第3次空き地及び空き家等対策計画が策定されている。そこで、対策計画の特徴について伺いたい。

答 第3次対策計画では、具体的な取組として、5分野10項目の施策を掲げている。

利用可能なAランクの空き家が増加していることから、リフォームや家財処分等について新たな支援制度を検討し、空き家となっている中古住宅の流通促進につなげていきたい。

一般質問



自由民主党市議団
森 電子 議員



義務教育学校の 一日も早い開校を

問 義務教育学校の開校はいつを目指すのか。

答 令和8年から9年度にかけて基本構想・基本計画を策定し、その後、整備スケジュールを明らかにしていきたい。



民主・護憲クラブ
松尾 哲也 議員



三池港の利活用について

問 国際フィーダー定期航路が新規に開設されたことに対する市長の見解は。

答 官民一体となって誘致活動に取り組んだ結果、新たな海外航路が開設されたことは

問 もっと本気を見せていただきたい。松原中学校の体育館は耐震化未完了のため、文部科学省から改善指導を受けている。未耐震の体育館のまま子どもたちを学ばせ、災害時には市民を避難させるのか。

答 平成27年度に応急耐震補強を行っているが、抜本的な対策に至っていない。今回の基本構想・基本計画の中で体育館整備の検討を行う。

再発言 安全性確保のため、一日も早い開校が望まれる。スピードアップを強く求める。

喜ばしく、三池港の利用促進を一層進めたい。

中学校の部活動について

問 本市の部活動指導員、外部指導者の現状は。

答 部活動指導員は6校12名、外部指導者は6校16名。

問 部活動の地域展開に対する市の考えは。

答 持続可能な部活動と教師の負担軽減の両方を実現できる改革を目指し、部活動検討委員会で検討を進める。

どころとなる庁舎の整備を目指すとともに、市民の理解が得られるよう、事業費や規模の縮減に努めたい。

再発言 建築費を100億円以内に抑えた市民に便利な新庁舎を検討すべき。新庁舎では、1・2階にエスカレーターを設置し、1階は総合窓口、市民部、保健福祉部とし、2階フロアを含めたところで、学校の転校や子育ての手続など行い、1・2階で全ての市民サービスが実施できるというような考えを持たれたい。

浜田町ポンプ場の改築 スケジュール前倒しを

問 早急に浜田町ポンプ場の改築に取り組むべきと思うが。

答 既存施設を運用しながらの工事となり、現計画では17年度の完了を予定している。

再発言 浜田町ポンプ場は市役所なども含む本市で一番広い排水区を担っている。施設は標準耐用年数の2倍を経過し、部品調達もままならない状態。10年後とされるスケジュールの前倒しを要望する。

佐賀駐屯地に配備された V-22オスプレイについて

問 佐賀駐屯地に17機が配備されたことへの市の見解は。

答 国の責任において飛行の安全確保を最優先に万全を期していただきたい。

また、福岡県情報連絡会などを通じ適宜情報を把握する。

問 9月29日以降に夜間飛行訓練が開始されるが、市民への情報提供は。

答 現時点では、情報の掲載等については考えていない。

小中学校屋内運動場への 輻射式空調の設置検討

問 設置に当たっては、国の補助が重要であり、補助期限もあることから、設置の早期実現が必要と考えるが。

答 国は、令和17年度までに体育館等における空調設置率を95%にする目標を掲げ、補助率のかさ上げ等の支援策を示している。市としては、空調方式、イニシャル・ランニングコスト、他市の動向などを踏まえ総合的に検討したい。



自由民主党市議団
光田 茂 議員



総合体育館事業を 踏まえた今後の公共施設の 整備について

問 庁舎整備基本構想は、立派にできているが、行政目線でつくられたもので、整備規模や財政的な問題から、市民理解を得にくいと思うが。

答 市としては、市民のより



無所属
北岡 あや 議員



身寄りのない市民の 生活・死後事務の支援

問 市内の5万4,794世帯のうち、高齢者の単身世帯数は1万5,318世帯と非常に多く、身寄りがない方も少なくない。本人の生活や死後の事務、納骨など、多くの課題に関わり、

実際に支援する人がいない状況について、市の認識は。

答 財産管理や医療・介護処置の同意など、身寄りのない高齢者に関わる内容が増えており、住民同士のつながりも希薄。本市においても重要な課題と認識している。

問 入院や入所の手続、各種支払いなど、ケアマネジャーのシャドーワーク等で成り立っている。対策が必要だと思うが、市の考えは。

答 日常生活の困り事を相談できる環境が必要なため、地

域包括支援センターでは、介護保険サービスや成年後見制度、社会福祉協議会が実施するおおむたキャロットサービスなどの支援につないでいる。

また、自分の望む生き方を考え、話し合う座談会などを開催している。

再発言 納骨まで尊重される社会であるために、共同墓地の間口を広げる検討など、生きている間の不安を少しでも軽減していけるよう、大牟田市の行政、地方自治体が役割を果たしてほしい。

委員会のメンバー構成及び所管事項

前号(233号)の常任委員会の紹介に引き続き、委員会を紹介します。このほかに、請願等調整委員会、決算・予算審査を行う特別委員会などがあります。

前号で紹介した
常任委員会は、
こちらのQRコード
から確認できます。



議会運営委員会

【委員長】森 遵^⑩
【副委員長】大野 哲也^④
江上しほり^⑩、豊福達也^⑩、船原基近^⑩
古庄和秀^⑩、三宅智加子^④

－所管事項－

議会運営や調整等に関する事



広報広聴委員会広報部会

【委員長】山田 修司^④
【副委員長】江上しほり^⑩
森 遵^⑩、古庄和秀^⑩

－所管事項－

広報（広報紙）等の企画・作成に関する事



広報広聴委員会広聴部会

【委員長】山田 修司^④
【副委員長】奥村 橋倫^⑩
中原誠悟^⑩、森 竜子^⑩、松尾 哲也^⑩
平山 伸二^④、崎山 恵子^⑩

－所管事項－

広聴（意見聴取）等の企画・運営等に関する事

※(名前後は所属会派)⑩: 自由民主党市議団、⑩: 民主・護憲クラブ、④: 公明党議員団、⑩: 無所属

行政視察受入実績

行政視察受入（7月～9月）

月	日	都道府県	団体名	視 察 項 目
7	3	沖縄県	宮古島市議会	・地域包括ケアシステムについて
7	7	広島県	府中市議会	・地域包括ケア「おおむたモデル」について（認知症）
7	10	岐阜県	各務原市議会	・防災情報収集システム構築とリアルタイム情報配信事業について
7	23	千葉県	八街市議会	・大牟田市認知症ケアコミュニティ推進事業について
7	31	群馬県	太田市議会	・大牟田市まちなか活性化プランについて
8	4	北海道	江別市議会	・大牟田市子ども・子育て応援条例、大牟田市居住支援協議会について
8	20	京都府	京都市会	・認知症施策について

インフォメーション

■次の定例会は12月です

詳細については、議会事務局（41-2800）までお問い合わせください。また、ホームページでもお知らせします。

スマートフォン
等でも議会中継（生
中継・録画中継）
が視聴できます。



議案等の審議結果

議 案 等 名		議 員 名		自由民主党市議団							民主・護憲クラブ				公明党議員団				無所属			賛 成 数	審 議 結 果			
				中原誠悟	江上しほり	桑原誠	徳永春男 議長	豊福達也	光田茂	森遵	森竜子	山口雅夫	森田義孝	奥村橋倫	櫻井ちはる	船原基近	古庄和秀	松尾哲也	大野哲也	塩塚敏郎	平山伸二			三宅智加子	山田修司	北岡あや
発議 第7号	地方財政の充実・強化に関する意見書案	×	×	×	－	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	8	少数否決
発議 第8号	参議院選挙での民意に応え、消費税減税とインボイス制度廃止を求める意見書案	×	×	×	－	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	8	少数否決
発議 第9号	最高裁判決に基づきすべての生活保護利用者に対する速やかな被害回復措置を求める意見書案	×	×	×	－	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	8	少数否決
発議 第10号	学校給食の無償化を全国一律で早期実現することを求める意見書案	×	×	×	－	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	8	少数否決
議案 第15号	令和6年度大牟田市一般会計決算の認定について	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	20	認定
議案 第16号	令和6年度大牟田市国民健康保険特別会計決算の認定について	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	20	認定
議案 第17号	令和6年度大牟田市介護保険特別会計決算の認定について	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	20	認定
議案 第18号	令和6年度大牟田市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	20	認定

■大牟田市議会では、採決に起立採決を採用しています。起立採決は、議長が議案等に賛成の意思のある議員に起立を求めます。一覧表については、起立した議員を○と表記し、それ以外の議員を×と表記しています。また、空白は欠席または表決の棄権を表します。なお、議長は採決に加わることはできません。

下記議案等については全員賛成で可決、認定。

議案 第19号	令和6年度大牟田市病院事業債管理特別会計決算の認定について	議案 第30号	大牟田市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について
議案 第20号	令和6年度大牟田市水道事業会計決算の認定について	議案 第31号	令和6年度大牟田市水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び積立金の目的外使用について
議案 第21号	令和6年度大牟田市公共下水道事業会計決算の認定について	議案 第32号	令和6年度大牟田市公共下水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び積立金の目的外使用について
議案 第22号	令和7年度大牟田市一般会計補正予算	議案 第33号	請負契約の締結について（大牟田市白岩五郎川線道路排水施設改良工事（その2））
議案 第23号	令和7年度大牟田市国民健康保険特別会計補正予算	議案 第34号	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について（柳川市）
議案 第24号	令和7年度大牟田市介護保険特別会計補正予算	議案 第35号	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について（みやま市）
議案 第25号	令和7年度大牟田市後期高齢者医療特別会計補正予算	議案 第36号	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について（荒尾市）
議案 第26号	令和7年度大牟田市公共下水道事業会計補正予算	議案 第37号	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について（南関町）
議案 第27号	大牟田市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について	議案 第38号	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について（長洲町）
議案 第28号	大牟田市重度障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	発議 第11号	大牟田市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について
議案 第29号	大牟田市風致地区内における建築等の規制に関する条例の一部を改正する条例の制定について	発議 第12号	大牟田市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について

令和7年度議会報告会・広聴会を開催します

市民の皆様からの御意見などをお聞きする議会報告会・広聴会を今年度は以下の日程で開催します。

報告会・広聴会では、まず「議会の仕組み」と「議会の取組」を説明させていただき、その後、皆様と意見交換を実施する予定です。

開催日時・会場	開催日	時 間	主な対象校区	会 場	※各会場90分程度を予定しています。 ※手話通訳及び要約筆記は、全会場で行う予定です。
	11月4日(火)	19時から	銀水、羽山台、三池、高取、平原、白川	三池地区公民館（2階 研修室A）	
	11月6日(木)	19時から	上内、吉野、倉永	吉野地区公民館（2階 視聴覚室）	
	11月20日(木)	19時から	大牟田中央、天領、みなと、駿馬、天の原、玉川	おおむたアリーナ（1階 会議室3・4）	
	11月21日(金)	19時から	手鎌、明治、中友、大正	手鎌地区公民館（2階 視聴覚室）	

秋には様々な〇〇の秋があります。私は凡庸ですが「食欲」が入ってしまいます。
本年度、本市には新しい「秋」として、市立小学校の2学期制に伴い、前期と後期の間に秋休みが誕生しました。数日の秋休みでしたが新鮮で、まだ1年目ということで戸惑いもありましたが、本市の教育制度として定着し、子供たちがのびのびと学び育つことを切に願います。(Y)

■編集 広報広聴委員会広報部会
【委員長】山田修司 【副委員長】江上しほり
【委員】森遼 古庄和秀
■発行 大牟田市議会
〒836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地
TEL 0944-41-2800 FAX 0944-41-2880
E-mail e-gikaijimu01@city.omuta.fukuoka.jp
■印刷 株式会社 江崎印刷所